※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	黒上晴夫、村井純、堀田龍也「情報Ⅰ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報化、グローバル化による世の中の急速な変化に前向きに対応し続けることができるよう、情報Ⅰでは次の力の向上をめざします。

・情報機器、情報通信技術の仕組み、関連法規の内容や意義を理解し、適切に問題解決する力
・あらゆる情報源から信頼できる情報、問題解決につながる情報を収集する力
・客観的事実、数値データ等の根拠にもとづき自らの考えを構成し、発信する力
・他の人に分かりやすく情報デザインし、伝える力
・国際化・情報化社会での多様な価値観・受け止めを的確に想定する人権感覚を身に付け、適切に情報を受発信できる力

以下のような学習態度で取り組みましょう。

・話を聞く、課題に取り組む、話し合いをする等、行動一つひとつにメリハリをつける。
・毎回の授業で配付される課題に集中し、丁寧に取り組む。
・授業終了１０分前に学習したことを具体的に振り返り、小レポートを記述する。
・難しい課題にも、他者と協力しながら取り組む。
・あらゆる場面で、他者との協力が起きるような発言を心がける。

2　学習の到達目標

・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深める。
・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 ○情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解している。 ○プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用できる。 ○情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ○データを表現、蓄積できる。 ○データを収集、整理、分析することができる。	○情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。 ○情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。 ○目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善している。	○情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決している。 ○効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善している。 ○目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えている。 ○データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td>情報社会の光と影</td><td>1. 教科書の指定する範囲について説明するための資料を作成する。
2. 同じ班の中で情報交換し、資料を改善する。</td><td rowspan="2">a.　情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。
b. 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察している。
c. 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現している。</td><td></td><td></td><td>授業観察
個人スライド</td></tr>
<tr><td>情報モラル</td><td>3. 他の班に行き、説明を聞き、分かりやすさ、内容の深さについて相互評価する。
4. 説明を聞くことで理解が深まったことを振り返りに記述する。</td><td>相互評価の記述
振り返りの内容</td><td>振り返りの内容</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td>情報のデジタル化</td><td>1. 教科書の指定する範囲について説明するための資料を作成する。
2. 同じ班の中で情報交換し、資料を改善する。
3. 他の班に行き、説明を聞き、分かりやすさ、内容の深さについて相互評価する。</td><td rowspan="2">a. メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している。
a:　情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。
b. 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。
c. メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択している。</td><td></td><td></td><td>授業観察
個人スライド</td></tr>
<tr><td>情報のデジタル化</td><td>4. 説明を聞くことで理解が深まったことを振り返りに記述する。
5～6.
情報の科学
プレゼン動画作り
7～8. 相互評価</td><td>相互評価の記述
振り返りの内容</td><td>振り返りの内容</td><td>プレゼン動画</td></tr>
<tr><td>プログラミング基礎</td><td>1～2. プログラミング入門
3～8. (グループワーク)
Python プログラミング
9～10.
プログラム解説動画作り</td><td>b:　目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現している。
c:プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善している。</td><td></td><td>プログラムの完成度</td><td>授業観察
プレゼン動画</td></tr>
<tr><td>3学期</td><td>データ分析実習</td><td>1～4.
アンケート作成、集計、データ整理、分析体験
5. 情報システムの学習
6. 情報の科学　復習
7. データベース実習
8. 1年間　総振り返り</td><td>a:　情報システム、情報通信ネットワークの仕組みについて理解している。
b:　情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察している。
c:　データの収集，整理，分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善している。</td><td>振り返りの内容</td><td>振り返りの内容</td><td>振り返りの内容
授業観察</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度